



戦後80年・・・

子どもたちに伝えたいこと

今年は昭和100年。そして戦後80年を迎えました。夏休み中の8月6日と8月9日は広島と長崎の原爆投下による戦没者慰霊のため、平和祈念式典が行われました。広島で行われた記念式典では広島市内の小学6年生が「こども代表」として「平和への誓い」を述べました。

「戦後80年を迎え、直接被爆した方から当時の話を聞く機会が減ってしまったこと、時が流れても語り継ぐことの使命があること、大人だけでなく子どもである自分たちも平和のために行動することができる」と、力強く宣言していました。

本校では9月1日の朝会で戦後80年の話をしました。開校50周年記念誌には、昭和20年8月13日「爆撃に遭い校舎を損壊し、職員3名が殉職し、1名が負傷した」との記載が残っています。新玉小の東門から海側に向かって歩くと、80年たった今でも、その痕跡を目の当たりにすることができます。自分たちの身近な場所で起きたこととして、ぜひ知っておいてほしいものです。「平和への誓い」にあったように私たちには語り継ぐ使命があります。大人も含め一人ひとりが、今の自分に何ができるのか、考える機会になるといいです。

<空襲による着弾の跡地と教育委員会の看板>



図書室利用が快適・スピーディーに！！



図書室で本を借りるとき、これまでは個人カードに本の名前・借りた日・返す日を自分で書いていました。

しかし、カウンターに行列ができてしまう、低学年児童は字が書けない、などの課題がありました。そこで、図書室の貸出と返却をスムーズにするために



児童名と本校の貸出対象となる本を全てバーコードで対応できるようにしました。9月からはバーコードリーダーで読み取るだけで済むので、貸出と返却に時間がかかることなく、手続きができるようになりました。図書室内に響く電子音が新鮮で、子どもたちの興味をひくようです。

貸出や返却の業務は、基本的に図書委員会の児童や学校司書の海老澤先生、図書委員会担当職員が行っています。室内の飾りは、いつもボランティアの皆様が行ってくださっています。季節に応じた飾り付けが心を和ませてくれます。9月になっても熱中症警戒アラートにより外で遊ぶことが出来ない日には、図書室は校内でも人気の場所となっています。

～長い夏休み…安全に過ごせました～

9月スタート！44日間という夏休みが終わり、子どもたちが元気に学校にやってきました。7月30日のカムチャツカ半島地震による津波警報発令と避難指示以外は大きな出来事もなく安全に過ごせました。地域や保護者の皆様の温かなサポートや見守りのおかげです。本当にありがとうございました。



テーマは「全力尽くして優勝だ！！」 10月18日(土)は運動会



今年の運動会も昨年度と同じように観覧人数制限はなく、多くの方々に見ていただけます。午前開催のためお昼には下校となります。子どもたちの頑張りに、どうぞ温かな応援をお願いします。種目は徒競走(学年によって走る距離が違います)・表現・児童会種目・全校リレーとなります。保護者や地域の方々には、運動会のプログラムも回覧させていただきますので、ご確認ください。なお、体育館を休憩場所として開放いたしますので、地域や保護者の皆様、どうぞご利用ください。

運動会の練習が本格的に始めると、放送の音量等で近隣の方々にはご迷惑をおかけすることもあるかと思ひます。職員には事前に注意を促してありますが、しばらくの間、ご理解のほどお願いいたします。